



コロナ禍における 医療の国際展開と COVAXファシリティ

講演者：若林 真美 氏 (国立国際医療研究センター 上級研究員)

新型コロナウイルス (COVID-19) の感染拡大が続く中、国際社会における「ワクチンへのアクセスの不平等」が深刻な問題となっている。その有効な解決策として注目される「COVAX ファシリティ (COVID-19 Vaccine Global Access Facility)」とは、COVID-19 のワクチンを複数国で共同購入し、発展途上国も含めて公平に分配するための国際的な枠組みであり、国際医療分野における国際協力の新たな枠組みとして注目される。有効な解決策として注目されている「COVAX ファシリティ」とは、どのようなもので、現在までにどのような実績があり、またどのように評価されるのか。ワクチンの分配という枠組みにおいて、国際社会や日本は今後どのような対応が必要なのか。本セミナーでは、COVID-19 が国際社会にもたらした変容と、ワクチンの分配や医療という観点からみた国際協力と日本の役割について理解を深める。さらに、コロナ禍に生きる私たちの生活や今後の医療分野のグローバルガバナンスの在り方と課題について考察する。

講演者略歴 国立国際医療研究センター国際協力局グローバルヘルス政策研究センター上級研究員
大阪大学大学院医学系研究科修了。博士 (医学)
コーエイ総合研究所、名古屋大学大学院特任助教、有限責任監査法人トーマツグローバルヘルスケア戦略コンサルタント等を経て、2020 年 10 月より現職 (外務省国際協力局国際保健政策室への派遣を経験)。専門分野は、国際保健、公衆衛生など。

日時：2021 年 12 月 21 日 (火)
16:30 ~ 18:00

開催：オンライン (Zoom ウェビナー)

司会：高橋 麻奈 先生

(本学グローバル・リベラルアーツ学部
専任講師)

参加申し込み >>>

https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSdkiPYXtZs6k4P5-ClaaBEsLzOS_qOvkBW0AexR5gweYjzBXg/viewform



神田外語大学 グローバル・コミュニケーション研究所

〒261-0014 千葉県美浜区若葉 1-4-1 TEL/FAX: 043-273-2324 E-mail: gci@kanda.kuis.ac.jp